

(公財)神戸大学六甲台後援会だより (78)

夏に入り、科学研究費補助金の申請受付が開始されました。

日本の大学教員にとって、年中の恒例行事の一つに数えられるのが、科学研究費補助金への申請です。科学研究費(科研費)とは、日本学術振興会(一部は文部科学省)が所管する、全ての分野にわたって、あらゆる学術研究の発展を目的として交付される競争的研究費です。その他の競争的研究費の多くが領域を限定した研究課題のみを受け付けるのに対し、科研費は領域が限定されておらず、また、より挑戦的・萌芽的な研究や、研究成果の公開、研究の国際化の進展など、支援の対象となりづらいような研究種目についても支援がなされる研究助成であり、それゆえ多くの研究者が採択を目指す助成金です。令和6年度(昨年申請分)の主な研究種目の新規応募件数は、78、125件で、採択された課題に対して配分された助成額は2、138億円となっております。

恒例行事、というのには、特に昔はなかなか手間を要する作業だったためです。まず、研究課題もゼロからのスタートですと実現可能性が疑われますので、予備的な研究を進めておく必要があります。また、今も昔も申請書には、研究の目的や意義、研究計画に加えて予算など詳細な情報の記入が求められ、それだけでも10ページ前後になります。審査は同じ領域に属する研究者が行いますので、申請書には審査委員を説得するだけの内

容が求められ、何日も時間をかけて書き進めて行くことになりました。申請が電子化される以前は、原稿が完成してからも大作業でした。審査委員の数だけ申請書を、紙で作成する必要があったのです。少ない種目でも6部、多いものだと30部もの紙の申請書を印刷し、のり付けまで求められていました。事務作業の一大イベントだったといってもよいでしょう。

科研費の話を長々としたのは、これが大学にとって重要な問題だからです。約30年前の1994年度に科学研究費補助金に付された予算は824億円だったものが、国立大学が独立行政法人化する直後の2005年度には1、880億円と大きく増加しました。しかし、その後は頭打ちとなり、大きく増加させることなく現在に至ります。大学に交付される基盤的研究教育資金は、毎年機械的に減額されていますので、研究者個人に大学・研究科から支給される研究費は減少傾向です。そのため、競争的経費の重要性はより高くなり、教員は応募するように動機づけられています。近年では採択された課題を有する大学に対し、間接経費が支払われるようになっていきます。科研費の採択は大学収入に直結しますので、その採択は大学財政にとっても重要な問題なのです。

科研費はまた、大学の序列を示すものでもあります。日本学術振興会は、科研費の採択率や補助金の配分状況等の統計データを公開しています。研究機関別の配分状況も公開されており、採択件数や採択率でランキングが公表されています(令和6年度の新規採択課題では、神戸大学全体の採択件数は334件で

全体の8位です。

大学において重視される項目（女性比率や若手研究者比率）についてもランキングが掲載されており、注目される情報です。また、研究領域ごとのランキングも、中区分という、学部・学科に相当するレベルでの分類について過去5年の採択件数上位10機関までがリストされており、令和6年度のデータによると神戸大学は、「政治学およびその関連分野」が7位、「経済学、経営学およびその関連分野」が3位、「法学およびその関連分野」が8位に入っています。読者の方の中には、これらの順位では物足りないという思いをお持ちの方もおられるかもしれません。教員としてもさらに努力を行う必要があることを認識しております。ランキングに入ることは、研究目的ではありません。採択される課題の数は研究者の数そのものに依存しております。同僚の研究者の目を通過して採択された課題が多いということ、優れた研究者が多く在籍していることの証明であり、六甲台の部局が、プレゼンスを維持していることをご理解いただければと思います。

おそらく、読者の方の多くは、このような科研費のランキングの存在や、神戸大学のランクについてご存じないのではないかと思います。神戸大学の大学ウェブサイトでは、科研費の採択状況を全体でも、また領域でも大きくアナウンスしていません。大学広報として、もっと強調して良い点でしょう。さらにご存じの方が少ないと思われるのが、六甲台後援会が、六甲台の研究者の科研費課題採択に貢献をしているということ

です。予算規模の大きな研究課題に応募するための助走作業に對して、六甲台後援会は研究プロジェクト支援費を教員に助成しております。採択の可能性の高い課題を選考した上での助成ですが、その結果、支援を受けたプロジェクトの多くが、新規に科研費に採択されるという成果を残しております。ご寄附いただいた皆様のおかげであり、改めて感謝申し上げます。残念ながら、このようなご寄附の効果は、現状で皆様に十分には分かりづらい状況にあります。毎日更新するニュースがある訳ではありませんが、会員の皆様のご支援がどのような形で活かされているのか、定型的な事業報告にとどまらないご報告ができるかを自問しております。

（経営学研究科教授 清水泰洋）

令和5年度事業報告について

当財団の令和5年度の事業報告及び財務諸表につきましては、令和6年6月6日に開催された理事会及び6月27日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認され、6月27日に兵庫県に定時報告いたしました。

当財団をご支援くださる皆様方に財団の活動内容をご理解いただくたく、ホームページ上でも、(1)学術交流促進・学術成果公開等助成事業（学術交流の促進、学術成果の公開、学術研究助成等に係る助成事業）、(2)教育の充実に係る助成事業、(3)学術整備助成事業、(4)学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という当財団が行う主要な事業の概要について、財務諸表の要旨と併せてご報告させていただきます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行し、神戸大学におけるキャンパスライフもほぼ平常に戻りました。助成事業についても国際交流に係る一部の事業で実施時期の延期といった影響がありました。ほぼ、予定どおりの活動ができました。

当財団の助成事業の一例としては、当財団の創立50周年記念事業として平成20年度に創設した「社会科学特別奨励賞（凌霜賞）」は令和5年度までの16年間で423名が表彰されました。同じく平成20年度から実施している「学部相互履修科目開講支援」は単位修得者数（令和5年度現在）が約6千名に上り、毎年好評の中、実施していることをご報告いたします。その他の助成事業の概要につきましては、事業報告の概要をご覧ください。さらなる研究、教育の充実を図るため、今後とも、本財団に対して、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

事業報告の概要（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進、学術成果公開、学術研究助成に対する助成事業 20,021千円

1-1 教員海外派遣支援費 7,521千円

○経済学研究科

・ Agata WIERZBOWSKA 准教授（令和5年10月～令和6年1月、ポーランド）

目的…コロナウイルス感染症後の銀行システムについて

・ 胡 云芳教授（令和5年4月～令和5年8月、中国、オー

ストラリア）

目的…人的資本の国際間移動、産業構造変化と経済発展

○法学研究科

・ 増島 建教授（令和5年8月～令和5年9月、ベルギー、フランス他）

目的…人道・開発・平和の連結

・ 角松生史教授（令和5年8月～令和5年9月、ドイツ）

目的…ドイツ建築法制における空き家・空き地等対策

○国際協力研究科

・ 井上 武准教授（令和5年4月～令和6年3月、タイ王国）

目的…デジタル時代の新しい金融包摂…東南アジア新興国における現状と教訓

○経済経営研究所

・ 趙 来勲教授（令和5年6月～令和5年9月、中国）

目的…貿易摩擦、外交リスクと経済成長

1-2 学会・シンポジウム等開催支援 4,050千円

○経済学研究科

・ 第8回貿易及びマクロ動学国際カンファレンス

期間 令和5年11月

場所 神戸大学（オンライン）

・ 第8回応用経済学国際カンファレンス

期間 令和5年7月

場所 神戸大学（オンライン）

・ 漢陽大学校経済金融大学・経済研究所、神戸大学経済経営研究所・大学院経済学研究科、南洋理工大學経済学部 第

9 回共同研究発表会

期間 令和5年11月

場所 南洋理工大學（シンガポール）

○経営学研究科

・若手ファカルティデイベロップメント研究会

期間 令和6年3月

場所 松山大学榎又キャンパス

○経済経営研究所

・漢陽大学校経済金融大学・経済研究所、神戸大学経済経営研究所・大学院経済学研究科、南洋理工大學経済学部 第9回共同研究発表会

期間 令和5年11月

場所 南洋理工大學（シンガポール）

・The 14th International Conference of THE JAPANESE ACCOUNTING REVIEW

期間 令和5年12月

場所 神戸大学六甲台キャンパス・アカデミア館

・US-China Trade War and Repercussions

期間 令和6年1月

場所 神戸大学経済経営研究所

1-3 学術成果の公開

(1) 学術研究成果刊行支援費

2、550千円
2、550千円

○経済学研究科

・衣笠智子著『少子高齢化と農業および経済発展—世代重複モデルを用いた理論的計量的研究』（勁草書房）

○国際協力研究科

・中原雅人著『自衛隊と財界人の戦後史—支援ネットワークの形成とその意味』（ミネルヴァ書房）

○経済経営研究所

・家森信善著『地域金融機関による企業支援の新しい展開—金融機関による人材マッチングの可能性を探る—』（神戸大学出版会）

1-4 研究プロジェクト支援費

3、400千円

○法学研究科

・飯田文雄教授

研究課題 「難民」多様化時代における多文化共生政策の変容に関する国際比較研究

○経営学研究科

・三古展弘教授

研究課題 コロナ禍の非日常データを活用した交通現象の本質理解と持続可能社会実現への政策提言

○経済経営研究所

・北野重人教授

研究課題 世界的な高インフレ下における新興国のリスクとマクロ政策に関する理論・実証分析

・西谷公孝教授

研究課題 SDGsを促進するための新たなサステナビリティ会計開発に向けた国際的総合研究

○社会システムイノベーションセンター

・鈴木一水教授（センター長）

研究課題 企業の税制適応行動とその経済的帰結に関する

研究

1-5 社会システムイノベーションセンター（社会科学系研究

分野）に対する支援

2,000千円

・鈴木一水教授（センター長）

社会システムイノベーションセンター部門活動経費

1-6 襄山研究奨学基金

500千円

・國部克彦教授

課題 学術研究としての経営学の変遷と未来展望

2 教育の充実に係る助成事業

11,970千円

2-1 学部学生教育支援費

6,095千円

(1)成績優秀者に対する奨学金

1,265千円

・社会科学特別奨励賞（凌霜賞）（9名）

・六甲台賞（3名）

(2)教育プログラム経費

1,294千円

○経済学部

・IFEK（5年一貫経済学国際教育プログラム）

・世界水準での経済学の学びを可能にするための英語論述力

の強化

○経営学部

・KIMERAプログラム

○法学部

・KUPES欧州派遣研究調査プロジェクト

(3)海外派遣支援費

400千円

・神戸グローバルチャレンジプログラム

(4)学部相互履修科目開講支援費

1,136千円

期間 令和5年度前期・後期

対象 法学部、経済学部、経営学部（3学部2年生後期以

降対象）

(5)学部共通講義開講支援経費（寄附講義）

300千円

・凌霜会 六甲台後援会寄附講義「社会科学の実践」

期間 令和5年度後期

対象 法学部、経済学部、経営学部（3学部の1、2年生

対象）

(6)キャリア形成教育経費

1,700千円

2-2 大学院学生教育支援費

3,875千円

○経営学研究科

・海外派遣支援

・MBA加護野忠男論文賞

○法学研究科

・教育プログラム経費

・卓越した大学院拠点形成による若手研究者養成

・法科大学院共通到達度試験支援

・海外派遣支援

・エクスターンシップ実施経費

○国際協力研究科

・海外派遣支援

2-3 特定基金による学生教育支援費

2,000千円

(1)田崎奨学基金による奨学金

300千円

(2)久研究奨学基金による海外研究活動に対する支援

3 学術基盤整備に係る助成事業 1,700 千円
3,400 十円

○経営学研究科

- ・ N P M 関連データベース
- ・ 企業情報データベース
- ・ イーオーエル (EOL)

○経済経営研究所

- ・ 加島屋廣岡家文書のデータアーカイブ
- ・ 鐘紡資料

4 学術交流施設維持管理事業 253 千円

(1) 学術交流施設「ロイ・スミス館」の維持・管理 253 千円

5 その他財団が必要と認める事項 3,000 千円

(1) 神戸大学創立120周年記念基盤事業支援

6 事業費付帯経費 13,117 千円

いつも皆様の「ご寄附誠にありがとうございます」

今年も凌霄会会誌7月号に凌霄会会員の皆様へ「ご寄附のお願い」を同封させていただきました。前号でご報告させていただいた以降、8月6日現在でのご報告となりますが、多くの皆様から「ご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。」

金額別に、土倉莞爾様(昭41法) 1千円、芝元憲太郎様(平9経済) 2千円、匿名様(平7法)、匿名様(昭38経済)、匿名様(昭47経済)、佐渡島英厚様(昭48経営) 各3千円、菊谷裕洋様(昭37法)、前田敏雄様(昭40法)、有川正治様(昭40法)、大村ゆりえ様(昭55法)、松原永長様(平5法)、大和捷男様(昭36経済)、田中宏政様(昭62経済)、柴田孝生様

(昭55経営)、奥村禎敏様(昭55経営) 各5千円、山内庸行様(昭40経営) 6千円、森川敏昭様(昭57経済) 7,744円、匿名様(昭31法)、辻 雄史様(昭34法)、福島有恒様(昭36法)、藤木 登様(昭37法)、徳廣 巖様(昭38法)、小幡浩士様(昭42法)、樋口俊夫様(昭43法)、江口博寿様(昭44法)、匿名様(昭53法)、竹田伸也様(昭54法)、乗光圭一様(昭55法)、井阪正光様(昭59法)、松島茂樹様(平元法)、多田 葵様(平27法)、中西圭太様(平25法科)、塩田 保様(昭28経済)、河野映二郎様(昭32経済)、木崎 晃様(昭34経済)、山本雅俊様(昭39経済)、片桐 陽様(昭40経済)、竹内辨郎様(昭44経済)、進藤政和様(昭45経済)、山口勝彦様(昭47経済)、名賀石憲様(昭51経済)、真田亮一様(昭51経済)、小林泰明様(昭51経済)、三島 明様(昭54経済)、長岡伸幸様(昭54経済)、匿名様(昭54経済)、匿名様(昭55経済)、吉川一郎様(昭55経済)、中村滋彦様(昭60経済)、匿名様(平15経済)、匿名様(平27経済)、匿名様(昭40経営)、風早正幸様(昭43経営)、松田兼太郎様(昭43経営)、小仁昌敏様(昭43経営)、匿名様(昭43経営)、大辻茂雄様(昭46経営)、岩崎 隆様(昭47経営)、徳永 真様(昭51経営)、匿名様(昭52経営)、森本浩三様(昭53経営)、辻 高幸様(昭55経営)、福本桂太様(昭61経営)、匿名様(平元経営) 各1万円、匿名様(昭46経済)、山本一章様(平23経済)、小林 仁様(昭36経営)、徳重光彦様(昭45経営)、匿名様(昭49経営)、匿名様(昭50経営)、匿名様(昭53経営) 各2万円、藤木 登様(昭37法)、小野俊明様(昭36経済)、浅沼健三様(昭46経済)、匿名様(昭

51 経済)、吉井昌彦様(昭56 経済)、小暮一寿様(平元 経済)、佐野 健様(昭30 経営)、匿名 様(昭44 経営)、直嶋正行様(昭46 経営)、武貞文隆様(昭51 経営)、立野靖人様(平15 経営)各3 万円、西沢信雄様(昭23)、水谷光男様(昭44 法)、角元敬治様(昭60 法)、岸田末光様(平25 経済研究科)、戸田 宏様(昭38 経済)、辻本健二様(昭45 経済)、坂根利彦様(昭40 経営)、番 尚志様(昭44 経営)、楠本崇人様(昭51 経営)各5 万円、亀井武彦様(昭29 経営) 5 万4 千円、安藤幹雄様(昭45 法)、段野治雄様(昭40 経済)、岡田信吾様(昭43 経済)、坂井信也様(昭45 経済)、尾野俊二様(昭48 経済)、松尾憲治様(昭48 経済)、森山 徹様(昭34 経営)、原田壽夫様(昭40 経営)、平松秀則様(昭42 経営)、匿名 様(昭51 経営)、松坂英孝様(昭55 経営)、寺崎泰造様(平2 経営)各10 万円、山邑陽一様(昭34 法)、稲垣 滋様(昭45 経済)各20 万円ご寄附をいただきました。

お陰様で、令和6 年度4 月以降の寄附金額は367 万7 千7 百円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。よろしくお願い申し上げます。また、本財団ホームページからもご寄附(クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等)いただけますのでご利用ください。よろしくお願ひ申し上げます。

◎銀行送金の場合(メール・電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください)

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合(通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください)

口座番号 00980-9-116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附いただけます。<https://rokkodaifund.com/>

〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: k-koenkai@rokkodaifund.com



エゾビタキ

三郎